

超高齢者の ERCP(内視鏡的逆行性膵胆管造影検査)の安全性に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2023年4月5日～2024年12月31日

〔研究課題〕

90歳以上の超高齢者に対する内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)の安全性についての後ろ向き研究

〔研究目的〕

胆管結石や胆道癌、膵癌等による閉塞性黄疸に対する検査・治療として行われる内視鏡処置である、ERCP という手技は、一定の確率で有害な事象が起こる事が知られています。高齢の方に対しても行われている処置ですが、90歳以上の超高齢者に対して行った場合の安全性についての報告はまだ多くありません。当院で行った処置について、75歳以上89歳以下の方との比較を行う事で、90歳以上の方に行った際の安全性について調査する事を目的としています。

〔研究意義〕

90歳以上の方に対して ERCP を行った際の安全性を評価し、偶発症の詳細について調べる事で具体的な安全性の向上を図る事が可能となります。

〔対象・研究方法〕

2015年1月から2020年12月に当科で ERCP を受けた75歳以上の方が対象となります。

対象となった方を90歳以上の方と89歳以下の方の2グループに分けて、患者さんの状態や行った処置、治療によって起きた有害な事象の割合を比較して、安全性に差がなかったかを検討します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部内科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は分からないよう加工され、個人が特定されることはありません。

研究終了後、情報は帝京大学臨床研究センターにて10年間保管され、その後廃棄されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 氏名 有住 俊彦	職名	講師
研究分担者: 氏名 山本 貴嗣	職名	教授
所属: 帝京大学医学部内科学講座		
住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1	TEL: 03-3964-1211 (代表)	[内線 7550]